

麻酔科・集中治療部

a 体制—当該年度の特徴・スタッフ等

麻酔科管理の予定手術 8 列、24 時間 365 日の麻酔科当直 (ICU 当直兼務が殆んど) という当科の大原則は引き続き維持することができた。2018 年 3 月末で医員 1 名 (村田) とレジデント 1 名 (若田) がそれぞれ大学院生と医員で京大に帰学し、4/1 付で 1 年目レジデント 2 名 (白: 北野プログラム、山内: 京大プログラム) を採用した。副部長 1 名 (野々村) が 2018 年 9 月末で退職した。5/1 付で医員 2 名 (直井、白井直) が副部長に昇格し、レジデント 1 名 (福元) は 4/1 付で医員に昇格した。10 月以降は珍しく産休育休が 1 名もいなかったことで何とか乗り切ることができた。麻酔科管理件数が年間で 190 件減少したことも麻酔科運営には幸いであった。ICU 入室症例は 670 例で、多くの ICU 研修を希望する医師と共に充実した ICU 活動を行うことができた。研究活動においては、引き続き、関西医科大学廣田教授との共同研究で科研費の基盤研究 C を行った。

スタッフ

副院長・麻酔科部長・中央手術部長	足立健彦
麻酔科主任部長	加藤茂久
集中治療部主任部長	宮崎嘉也
麻酔科部長	黒寄明子
副部長 (短時間勤務正職員)	佐々木由紀子
副部長 (短時間勤務正職員)	原朋子
副部長 (9/30 退職)	野々村智子
副部長 (5/1 昇格)	直井紀子
副部長 (5/1 昇格)	白井直人
医員 (短時間勤務正職員)	柚木圭子
医員 (短時間勤務正職員: 9/18 まで育休)	白井ひろみ
医員 (4/1 昇格)	福元友梨
レジデント (4/1 採用)	白健人
レジデント (4/1 採用: 京大プログラム)	山内夫美子

b 診療実績—臨床統計等

麻酔科管理症例数	3573
内 全身麻酔数	3130
内 緊急手術数	388

集中治療部入室症例数	670
内 人工呼吸症例数	154
内 血液透析症例数	26

c 研究実績

学会

- 1 足立健彦、村田 裕 加速度感知型筋弛緩モニタと圧感知型筋弛緩モニタの比較検討
日本麻酔科学会第 65 回学術集会 2018/5/17 (神奈川)
- 2 足立健彦 当院における大腿骨近位部骨折の術後 30 日死亡率の検討 関西マンスリー
症例検討会 2018/6/9 (大阪)
- 3 森長郁慧、直井紀子、村田 裕、黒寄明子、足立健彦 子宮腺筋症合併妊娠に対し、帝王
2018/7/14 (京都)
- 4 佐々木由紀子、直井紀子、足立健彦 糖尿病患者の術前 HbA1c 値と周術期管理・合併症
との関連 日本麻酔科学会第 64 回関西支部学術集会 2018/9/1 (大阪)
- 5 直井紀子、黒寄明子、森長郁慧、足立健彦 子宮腺筋症合併妊娠に対し、帝王切開同時
子宮摘出術を行い大量出血した1例 日本麻酔科学会第 64 回関西支部学術集会
2018/9/1 (大阪)
- 6 黒寄明子 帝王切開中に喘息様症状を発症した 1 例 第 8 回 KANSAI 産科麻酔症例検
討会 2019/1/5 (大阪)
- 7 足立健彦、山内夫美子、白井直人 気管浸潤を伴う甲状腺癌に対する気管切開術の麻酔
経験 第 24 回侵襲反応制御医学研究会 2019/1/19 (京都)
- 8 足立健彦、木口貴夫、佐々木由紀子 高齢の重症筋無力症患者に対する腹腔鏡下結腸
左半切除術の麻酔経験 第 31 回日本老年麻酔学会 2019/2/2 (東京)
- 9 白 健人、足立健彦、宮崎嘉也 巨大卵巣腫瘍の周術期管理に難渋した一例 第 46 回
日本集中治療医学会学術集会 2019/3/1 (京都)

論文

- 1 Chisato Sumi, Akihisa Okamoto, Hiromasa Tanaka, Kenichiro Nishi,
Munenori Kusunoki, Tomohiro Shoji, Takeo Uba, Yoshiyuki Matsuo,
Takehiko Adachi, Jun-Ichi Hayashi, Keizo Takenaga, Kiichi Hirota. Propofol induces a
metabolic switch to glycolysis and cell death in a mitochondrial electron transport
chain-dependent manner. PLoS One 2018;13:e0192796
- 2 Chisato Sumi, Akihisa Okamoto, Hiromasa Tanaka, Munenori Kusunoki, Tomohiro Shoji,
Takeo Uba, Takehiko Adachi, Teppei Iwai, Kenichiro Nishi, Hiroshi, Harada. Suppression
of mitochondrial oxygen metabolism mediated by the transcription factor HIF-1 alleviates
propofol-induced cell toxicity. Scientific Reports 2018;8:8987.

研究課題

- 1 麻酔台帳IT化を利用した周術期合併症の要因分析(原 朋子)
- 2 糖尿病患者の術前コントロールと周術期合併症に関する後ろ向き研究(佐々木由紀子、直井紀子)
- 3 新生児、乳児の鏡視下手術の麻酔管理(黒崎明子)
- 4 小児前投薬における経口ミダゾラムシロップの有用性に関する研究(黒崎明子)
- 5 敗血症患者管理におけるプレセプシン測定の有効性に関する検討(宮崎嘉也)
- 6 高度低肺機能患者の胸腔鏡下手術における自発呼吸下麻酔の有用性および安全性に関する研究(加藤茂久)
- 7 腹腔鏡下手術時のポート部位と術後痛予防に有効な末梢神経ブロックの種類に関する研究(加藤茂久)
- 8 術後悪心嘔吐の予防目的で術中投与するドロペリドールの副作用である錐体外路症状に関する調査研究。特に若年者における状況(加藤茂久)
- 9 新しい筋弛緩モニタと従来型筋弛緩モニタの比較研究(足立健彦)
- 10 血管内皮バリア機能制御におけるIFN β 1aシグナルと低酸素応答系のクロストーク(足立健彦・広田喜一(関西医科大学 附属生命医学研究所 侵襲反応制御部門))